

<基本情報>

所在地：宮崎県児湯郡新富町

<農場概要>

- 経営面積16ha（うち有機JAS及びASIAGAP認証取得5.5ha）
- 有機栽培品目：米、人参、馬鈴薯、ニンニク等
- 従業員：20名（代表役員含め5名、パート15名（増減有））



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 18歳の時、両親の後を継いで営農開始し、30年ほどは慣行栽培で米及びかんしょ等を生産。
このままの営農を継続するか、持続可能な農業を目指していくか悩んだ末、有機栽培を行うこととし、**平成20年（2008年）に有機JAS認証取得。**

<販売について>

- 有機JAS認定ほ場で生産した農産物は、ほぼ関東、関西へ出荷。
右の商品名「宮本」は代表者宮本氏から命名→
- 当社で令和3年8月に有機米を台湾へ輸出したが、即完売。
これを機に、新富町が令和4年以降の台湾での新富町物産展の開催を検討している。



<飲食事業について>

- 有機農産物は全て関東・関西への出荷のため、「どこで買えるのか」との地元の要望があったところに、町が空き店舗での経営者を募集していたため応募し、「有機米農家おにぎり宮本」を開店。



【お問合せ先】TEL. 090-3609-6496

ホームページ：<https://www.organicfarmzero.com/>

<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- 病害虫対策
米のいもち病とカメ虫防除には、有機JASで使用が認められたゼオライトを使用。
- 雑草対策
代かきを3回行い、その後、深水管理することで雑草を抑制。
冬作を行っていない場合は、複数回耕耘し、次年度の雑草抑制。
- 土づくり
有機ほ場は全て水田。野菜と米の輪作（2年3作）体系で、稲わらをすき込むことにより、ほ場に有機物還元。
たい肥は自作でなく、有機JASで使用が認められた豚ふんを施用。

<苦労したところ>

- 有機栽培を始めた頃は、指導者もおらず栽培技術も未熟で、収量・品質が安定せず収入が少なく、営農継続困難となった。
農業をやめようと考えていた頃、金融機関から融資を受けることが出来、営農を継続するうちに技術確立し、収入が安定し、現在に至る。

<農産物加工品の販売>

- 当社の有機米を使用した「お箸でほぐれるお餅」、「冷めても柔らかいお餅」などの商品開発を県内企業と共同で実施（老人福祉施設向け）。

